

Service News [サービス・ニュース]

今年度の新しい新聞・雑誌のご紹介

2017年4月から新たに受入を始めた新聞と雑誌をご案内します。ぜひ、ご利用ください。

2F パープルゾーン

【新聞】Newspaper

- 新文化
- デジタル毎日(館内貸出用のiPadでご利用いただけます)

【雑誌】Magazine

- 一枚の繪(え)(月刊)㊤
- オール読物(月刊)
- 小説現代(月刊)
- 動物園水族館雑誌(年4回刊)
- ノジュール(月刊)
- 目で見るとWHO(季刊)
- 歴博(隔月刊)
- 映画芸術(季刊)
- 甲斐(半年刊)
- 小説新潮(月刊)
- 日経デザイン(月刊)
- 一橋ビジネスレビュー(季刊)㊤
- ラジオ深夜便(月刊)
- 和楽(隔月刊)㊤

※ ㊤印の雑誌は3Fアート情報支援コーナーにあります。
※ ㊤印の雑誌は2Fオレンジゾーンにあります。

Exhibit Information 5月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「東京×発見」(～5/12)
「現代の東京、これからの東京」に焦点を当て、食、寄り道、アート、2020年などの小テーマに分けて東京を紹介。身近な街の新たな一面が見つかるかもしれません。

3F ホール 「科学道100冊ー『知りたい!』が未来をつくる」(～5/12)
科学者たちの見方・生き方・考え方。その思考プロセスに触れることのできる本を6つのステージに分けてご紹介。科学書だけでなく、ジャンルを横断して選ばれた本は、ビジネスなどの考え方や生きるヒントにもつながるかもしれません。ご好評につき、展示場所を移動して継続します。(企画協力:編集工学研究所)

3F ブルーゾーン 「色と光」(～8/18) NEW!
人の心理・行動に影響を与える「色」は、光源・物体・視覚の3つで構成されています。この科学的な性質を紹介した資料をはじめ、文化、文学、アートなど多種多様な方面から「色」と「光」の関係性について考える展示です。

3F グリーンゾーン 「数字をよみとく本棚」(～6/16)
人の生活に欠かすことのできない「数」は、どのようにして生まれたのか。数えるという概念から時間・暦・金融への発達を通して、数について考えます。また、図書館ではどのように本を並べているのか、図書分類法についても学べる展示です。

From Chiyoda Public Library 千代田区立図書館からのお知らせ
千代田区立の図書館では、「こどもの読書週間」(4/23～5/12)に合わせて「ヨムキチよだ2017」を開催しています。是非ご参加ください。

四番町図書館 (すべて参加無料)	日時	場所
きんようびおはなし会 ～こどもの読書週間スペシャル	4月28日(金) 15:30～16:30	四番町図書館 ラウンジ
こどもの日スペシャル 読んで歌って楽しんで!	5月5日(金・祝) 1回目:14:00～14:40 2回目:14:50～15:30	四番町図書館 ラウンジ

「としょかんをめぐる!スタンプラリー」も開催中です。イベントなどの詳しい情報は、「ヨムキチよだ2017」チラシ、または千代田区立図書館ホームページ(http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/)をご覧ください。

ZONE PICK UP! 2F オレンジゾーン 【法律・政治・ビジネス・統計・参考図書】の本を集めたゾーン

UPDATE

“顔の変わる書架”

時事問題、ビジネスや仕事に役立つ情報、千代田区の地域情報など当館にあるさまざまな資料を、オレンジゾーン(政治・法律・経済・社会)の視点で随時更新しながらご紹介しています。また、「今日の一冊」のコーナーでは、担当スタッフが日々起こる出来事をチェックし、頭を悩ませながら、その日にふさわしい一冊を選んでいきます。



▶ 展示 PICK UP ▶▶▶ 1階ホール NEW!
「みどりの月間」「みどりの感謝祭」関連展示(～5/14)

毎年4/15～5/14は「みどりの月間」です。日比谷公園内で開催される「みどりとふれあうフェスティバル」にちなみ、林業に関する取り組みを紹介するパネルを展示します。(協力:林野庁)
林野庁からお借りしたパネル



レポートします! 専門図書館への入口講座 第8回 日比谷カレッジ版

「映画・演劇資料の宝箱 —松竹大谷図書館—」

講師:武藤 祥子(公益財団法人松竹大谷図書館)

映画・演劇の専門図書館である松竹大谷図書館の武藤司書をお招きし、貴重な所蔵資料やクラウドファンディングを活用した資料保存プロジェクトなどについてお話しいただきました。一般では入手困難な映画や舞台に関する豊富な資料が、単なるコレクションとしてではなく、調査研究のために参照しやすいよう丁寧に整理・保管され、文化の継承のために大切にされていることがよくわかる、貴重な1時間でした。



満席の会場。1時間では語りつくせないほどの、まさに「宝箱」でした。

千代田図書館	日時	場所
《第9回ことばと音のフェスティバル》 チリンとドロン 世界のわらべうたと絵本のコンサート	5月3日(水・祝) 午前の部 0～2歳児向け:10:30～11:30 午後の部 3～5歳児向け:13:30～14:30	千代田区役所1階 区民ホール
おはなしに出会えるパン屋さん2017 さくらベーカーリー×千代田図書館	4月25日(火)～5月12日(金) 月～金:8:00～19:00 土曜:10:00～14:00、日曜・祝日 休み	千代田区役所1階 さくらベーカーリー
《こどもの読書週間展示》	日時	場所
本をひらいてぼうけんにかけよう	4月25日(火)～5月12日(金)	千代田図書館9階 第2展示ウォール
図書館のほん	4月17日(月)～5月14日(日)	千代田図書館10階 児童フロア
ことばと音のほん	5月1日(月)～5月14日(日)	

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

今年、武家政権の終わりを告げる「大政奉還(慶応3年/1867年)から150年の節目を迎えました。この機会に、260年余にわたる続いた徳川幕府の中心都市である江戸の町並みや当時の人々の暮らしぶりを見直し、あらためて現代に繋がる生活や文化について考えてみましょう。

◆ 2階パープルゾーン 文化財コーナー 新設

千代田区発行の文化財に関する図書や全国各地の博物館や歴史資料館の特別展・企画展の図録をまとめたコーナーが新設されました。江戸に関する資料や特別展図録も多数揃っています。見逃した展覧会の図録や探していた資料が見つかるかもしれません。



平成28年度文化財特別展図録『発掘された大名屋敷』千代田区教育委員会発行(2016年)

◆ 2階パープルゾーン 「江戸」図書コーナー

江戸の歴史、政治、経済をはじめ、文学、美術、歌舞伎、芸能などジャンル別に幅広く「江戸」に関する図書を所蔵しています。思わず手に取った本から、新しい知識が広がります。

◆ 日比谷カレッジ 江戸歴史講座

「日比谷カレッジ」では江戸・東京の歴史文化に関するテーマなど、多彩な講座やセミナーを実施しています。特に江戸歴史講座は江戸に特化したテーマで専門家を招き、定期的に開催しています。

◆ 1階常設展示室 千代田にみる都市の成立と展開

常設展示室では、徳川幕府の成立から江戸の都市づくり、江戸の街並み、人々の暮らしなど、江戸に関する多くの図版や資料と映像で当時の再現しています。デジタル技術を駆使したバーチャル侍による江戸城の儀式案内も必見です。



筋違橋御門「徳川幕府江戸三十六門画帖」(清水三太郎編・画/東陽堂/1896年)特別研究室蔵



calendar 開館時間:平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2017年5月							2017年6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	



access
 ● 都営地下鉄
 ● 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 ● 東京メトロ
 ● 丸ノ内線
 ● 日比谷線
 「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
 ● 千代田線
 「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分
 JR「新橋駅」徒歩10分
 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

5・6月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

5/10 (水) VR2.0の世界

講師：廣瀬 通孝(東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)

昨今注目を集めているVR(バーチャル・リアリティ)技術は、初めて言葉が使われた1989年とは技術的・社会的な環境が全く異なり、VR2.0とでも呼ぶべきものだろう。VR技術の過去と現在について解説し、VR2.0はどう進化していくのか、どう我々の考え方や産業や社会に影響を与えていくのか、いろいろな角度から考えたい。



■日時:5月10日(水)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円

5/13 (土) 日米マンガ発展史が触れ合った時代 -1930年代~1950年代

講師：小野 耕世(海外マンガ研究家・翻訳家)

私は日本のマンガも、つい世界のマンガ史の文脈のなかで見ることがくせになっている。そんな目で1930年代から50年代にいたる日本のストーリー・マンガの発展をたどってみたら、アメリカのマンガの進歩とからみあっているように感じるようになった。今回は、そんな目で日米ストーリー・マンガの歩みをたどってみたい。例えば、日本で人気のあったアメリカのマンガの主人公は、飛行機でどこを飛んだのだろうか？



■日時:5月13日(土)14:00~16:00(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円

5/16 (火) 少女小説は死なない -氷室冴子から現在まで

講師：嵯峨 景子(明治学院大学非常勤講師)

多くの読者を魅了してきた少女小説。懐かしの70年代から現在に至るまでの変遷を、豊富な図版資料とともにご紹介します。コバルト文庫を中心に、ティーンズハートやビーンズ文庫など、各レーベルの動向や流行ジャンルの変動を時代背景と関連付けつつ考察していきます。



■日時:5月16日(火)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

5/19 (金) 日本人の心と「いけばな」 いけばなを読み解く

講師：石渡 雅史(池坊中央研修学院 講師)

「花をいける」という言葉には、実は深い意味があります。仏前供花に始まり、室町時代に大成された「いけばな」。戦国武将に愛され、男性の嗜みのひとつでもありました。本講座では、形として残らない「いけばな」が、550年以上も続いていることに注目し、いけばなの歴史と、その見方についてお話しします。(協力:一般財団法人 池坊華道会)



立花 砂之物(講師:石渡雅史作)

■日時:5月19日(金)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

5/20 (土) 近代日本ものづくり研究会 日比谷カレッジ版 経済の縮小に対応できる社会とは ~谷根千工房の実践をヒントに~

講師：松久 寛(京都大学名誉教授・一般社団法人縮小社会研究会代表理事) 山崎 範子((有)谷根千工房代表取締役)

成長から縮小に向かう経済に対応可能な社会とは?谷中・根津・千駄木、通称「谷根千」地域で住民の暮らしを聞き書きし、発信してきた「谷根千工房」の実践をヒントに、持続可能な縮小社会への道についてお話しします。



左 松久寛、右 山崎範子

■日時:5月20日(土)14:00~16:00(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円(千代田区民・学生500円)
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

5/25 (木) 江戸歴史講座第44回 江戸時代の囲碁と将棋 ~本因坊算砂と大橋宗桂~

講師：増川 宏一(遊戯史学会会長)

囲碁、将棋が盛んになったのは江戸時代になってからで、徳川家康が「芸能」として認めて碁打ち、将棋指しに禄を与えたのが大きな転機となりました。それには碁打ちの本因坊と将棋指し宗桂の存在が大きく、碁家・将棋家として続く基礎を作りました。今回、最新の研究をもとに新しい解釈を説明します。



諸芸画【図】(作者不詳・江戸中期)より「囲碁」 国立国会図書館蔵

■日時:5月25日(木)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名
■参加費:1000円(千代田区民500円)

5/26 (金) 歴史に学び、未来を読む

講師：加来 耕三(作家)

歴史学とは単に過去をさかのぼるだけでなく、過去を丹念に調べ、現代を見つめ、未来を考える学問です。今年は大政奉還から150年。作家であり、メディアでも活躍中の歴史学者・加来耕三氏を講師に迎え、激動の幕末をテーマに、日比谷周辺の地と関係の深い井伊直弼の話も交えながら、わかりやすくお話しいただきます。



■日時:5月26日(金)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)

6/8 (木) 他 これだけは知っておきたい中国経済2017(全2回)

講師：丸川 知雄(東京大学社会科学研究所教授)

アメリカが内向き志向を強める中、中国がこれからの世界経済を牽引する力になる。経済成長の減速のあおりで失業者の増加にあえぐ地方がある一方で、世界から起業を目指す若者たちが集まって新商品を生み出している地方もあるなど、中国の多様な姿を伝えたい。



■日時:
第1回 6月8日(木)19:00~20:30(18:30開場)
「中国の経済成長と新興国へのインパクト」
第2回 6月22日(木)19:00~20:30(18:30開場)
「大衆資本家たちのイノベーション」
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:各回60名 ■参加費:各回1000円

6/14 (水) 「ハムレット」の哲学とキリスト教

講師：河合 祥一郎(東京大学大学院総合文化研究科教授)

『ハムレット』は優柔不断な青年の悩みを扱った作品ではなく、カトリックとプロテスタントが対立していた時代に書かれ、「人間とは何か」という非常に奥深い人間哲学に基づいて書かれた哲学的作品である。有名な台詞の原文の音読を交えながら、作品の神髄を究めてゆく。



■日時:6月14日(水)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

6/16 (金) 「詩」の魔力 一和歌と現代詩を往復して

講師：小池 昌代(詩人)

「百人一首」から選んだ和歌と、近・現代詩を一直線に並べ、古と現代とを往復しながら詩の魔力を探ります。およそ千年の間、日本語の詩はどのように変わったのでしょうか。逆に千年を貫く不変の詩精神はあるのでしょうか。作品を楽しく読み解きながら、詩と人間の関わり合いについても考えます。



■日時:6月16日(金)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円

6/18 (日) ピースビレッジ第53回 ウェアラブルデバイスとウェルネス経営 -日本における企業導入事例

講師：福田 強史(フィットビート・ジャパン カントリー・ゼネラルマネージャー日本代表)

身に着けるデバイスで健康管理やストレスチェックをチェックできる「ウェアラブルデバイス」。日本ではまだまだあまり馴染みのないこのデバイスを「ウェルネス経営」という名の下に導入している日米の企業導入例・その効果などをお話します。



■日時:6月18日(日)14:00~16:30(13:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:3000円

6/20 (火) 世界の音楽 2017-2018 口琴の響き、その歴史 ~日本とその周辺の子琴文化と歴史を知る~

講師：直川 礼緒(日本口琴協会代表)

ユーラシア大陸で生まれた口琴。世界中で演奏されているにもかかわらず、表舞台に登場することはあまりありません。近年、埼玉県蕨の遺跡から計3本の平安期の鉄製口琴が出土しましたが、現時点ではこの3例が世界最古です。そんな口琴の、日本とその周辺民族の歴史と文化を探ります。



■日時:6月20日(火)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円

6/21 (水) 星とめぐる時間旅行 星のはじまり ~星と宇宙と大自然

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)、福原 菜穂子(星のソムリエ®みたか)

星の誕生、宇宙の始まりにまつわるお話です。地球に生命が誕生する以前のビッグバンから始まって星が、太陽が、地球が生まれ、自然が形成されていく。その過程を追いながら、星と宇宙、自然の関わりをお話します。



■日時:6月21日(水)19:00~21:00(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円

こどもの読書週間in千代田区立図書館「ヨムキクちよだ2017」

5/11 (木) ビジネスパーソンのための「読み聞かせ」講座 ブラッシュアップ! 実践ワークショップ編

講師：児玉 ひろ美(JPIC読書アドバイザー)

読み聞かせの悩みに効く、ブラッシュアップ講座です。基本的なことの確認からはじめ、ワークショップを通じて、日ごろの疑問や悩み、苦手なことを一緒に楽しく解決しましょう。この一年に読み聞かせをした絵本の中から、お気に入りの一冊をご持参ください。



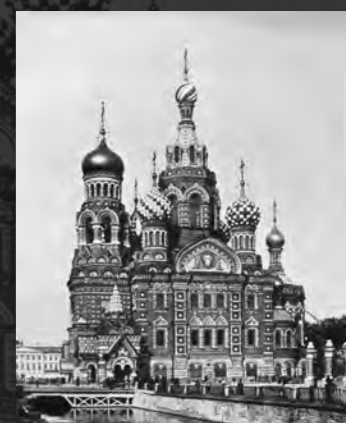
■日時:5月11日(木)19:00~21:00(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:30名 ■参加費:無料

特別研究室 企画 展示

ロシア革命から100年 ~国際派官僚の書棚で触れる近代ロシア

6月30日(金)まで開催中

今年1917年のロシア革命から100年という節目の年です。そこで、特別研究室では内田嘉吉文庫にある19世紀から1930年代を中心としたロシア関連の和洋図書を展示します。革命前のロシア帝国各地の民族衣装のイラスト集やロシア革命を論じた本、革命後のソビエトを自動車でめぐった旅行記などから、近代ロシアの一端に触れてみてください。



ハリストス復活大聖堂(St.Petersbourg, apercu historique et statistique / サントペテルブルク市議会 / 1908年)

《予告》日比谷図書文化館特別展

世界が見た、驚きと感動の大自然 ネイチャーズベスト傑作写真展

ネイチャーズベストは、世界最大規模の自然写真コンテストで、毎年、世界中から寄せられる数多くの応募の中から、優秀作品をアメリカのスミソニアン国立自然史博物館で展示、表彰するものです。本展では、展示替えも含め、歴代の受賞・優秀作品など約80点を紹介し、この地球・自然がかけがえのない大切なものであることを見る人々に強く訴えかけます。

■会場:1階 特別展示室
■期間:2017年6月9日(金)~8月9日(水)
※ 詳しくは次号で紹介いたします。

ポモージュ広報室より

4月23日(日)~5月12日(金)は「こどもの読書週間」です。期間中、全国各地で様々なイベントが行われ、千代田区内の図書館でも展示やイベントなどが開催されます。また、4月23日は「サン・ジョルディの日」としても知られ、スペイン・カタルーニャ地方では親しい人に本を贈る記念日、またセルヴァンテスとシェークスピアの命日にもあたることから本との結びつきが強い日です。この機会に、本について考えてみるのはいかがでしょうか。